

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

データを活用した可能性に溢れた豊かな社会

プロダクト売上高
10億円以上

② 中長期の経営戦略

1. コンサルティング事業の成長

DX/AIアセスメント～データ解析/AIモデル構築～AIシステム実装/運用までの一気通貫サービス提供で「大規模×長期化」を実現。同一顧客での複数テーマ実行により受注金額拡大

3. AIエージェント事業の開始

2025年度より競争力激化のAIエージェント領域に対処するため、コンサルティング・プロダクト両事業の当該領域を結集させ成長加速に注力

2. プロダクト事業の強化

TDSEシリーズ等自社AI製品充実と、QUID・Cognigy・Difyなど海外AI製品を活用した国内企業向けサービス展開で第二成長事業として確立

4. 事業シナジーの構築

コンサルティング事業で得たAIノウハウをAI製品化研究開発に活用。顧客・協業先プロジェクトから蓄積したライブラリーを新プロダクト構築に還元する好循環を実現

③ 対処すべき課題

① コンサルティング継続的成長

- ・営業人員増強・プリセールス専任組織化・営業管理強化により新規案件獲得力向上
- ・企業認知度向上・採用プロセス改善でDX人材獲得強化。生成AIエンジニア・Databricksエンジニア育成など
- ・2024年7月設立のデータテクノロジーラボで最新AI技術調査・検証を全社展開

② プロダクト事業成長加速

- ・TDSE QAジェネレーター・TDSE KAIZODE・TDSE Eyeなど自社AI製品ラインナップ強化で中…
- ・Quid Monitor・Cognigy・Difyの代理店数増加による新規顧客獲得と既存顧客継続利用
- ・デジタルマーケティングによる認知度向上と営業体制強化

③ AI技術動向への適応

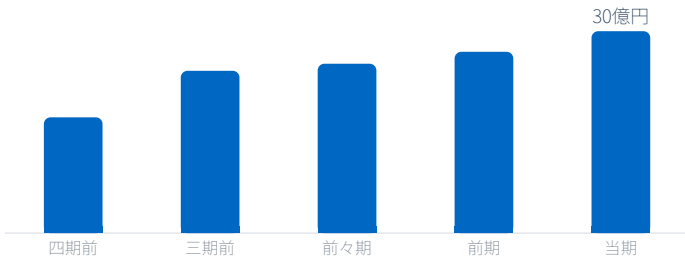
- ・AI市場は中長期的成長が予測。生成AI領域の割合拡大でクラシカルAIとの併用進展に対応
- ・急速な技術革新に対応するため書籍補助制度・海外論文共有など最新技術キャッチアップ環境構築

面接で使えるポイント

- ・ビジョン『データを活用した可能性に溢れた豊かな社会』達成へ、データ活用による高度な意思決定支援が社会的役割
- ・中期経営計画『MISSION 2025』でプロダクト事業を第二の事業の柱として確立し2028年度に売上高10億円以上目指す
- ・2024年7月設立したデータテクノロジーラボで最先端AI技術検証し…

証券コード 7046

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
情報通信・サービス業に属する東京都新宿区に本社
を置く企業で

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・財務健康度70点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
70点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 49.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
677万円

サービス業内 150位/524社

平均年齢
36.4歳

サービス業内 345位/527社

平均勤続
4.5年

サービス業内 365位/527社

女性管理職
3.2%

サービス業内 352位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 68位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: T D S E (株) 【7046】：決算情報

